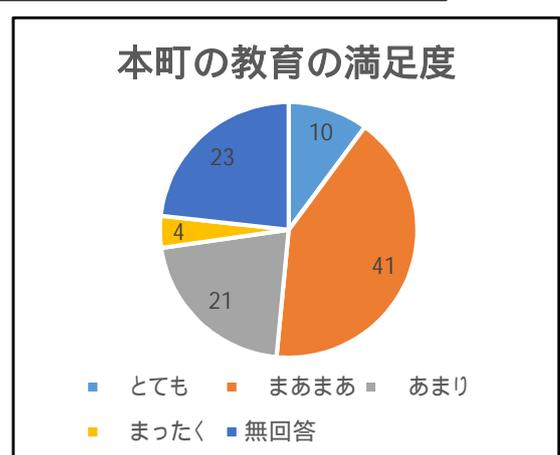
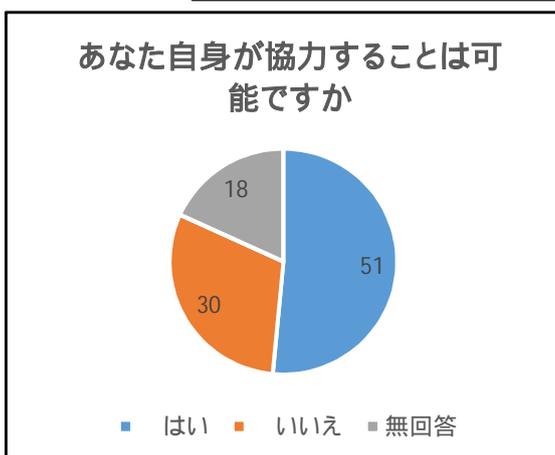
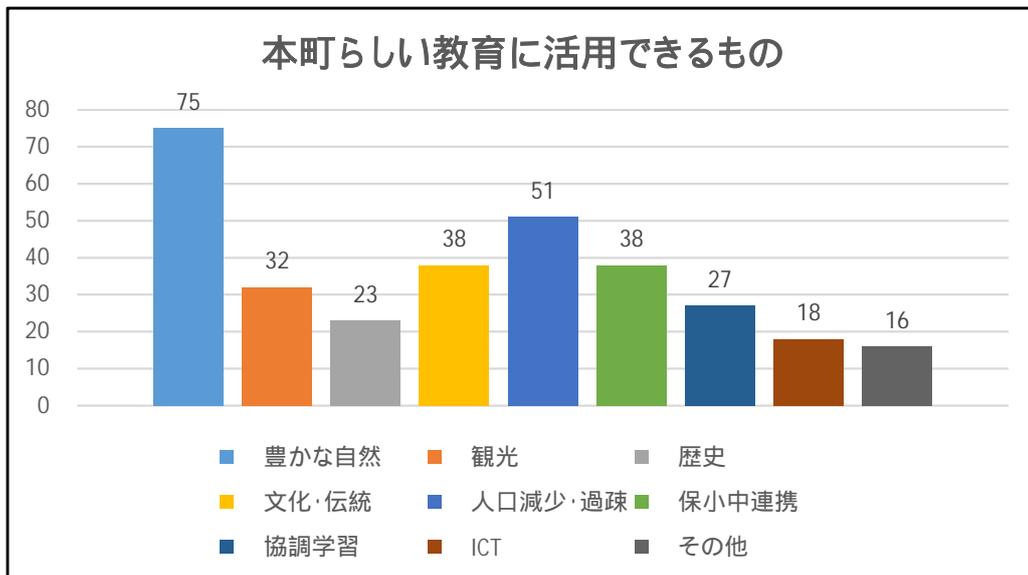
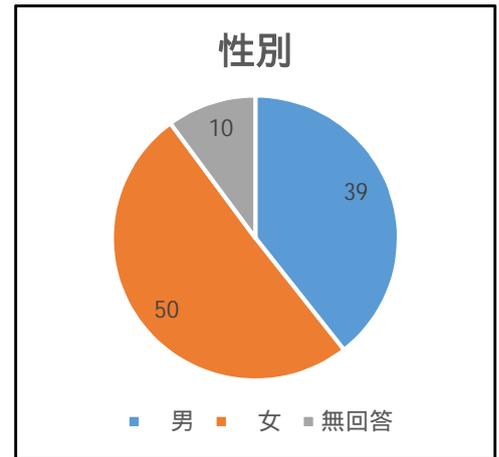
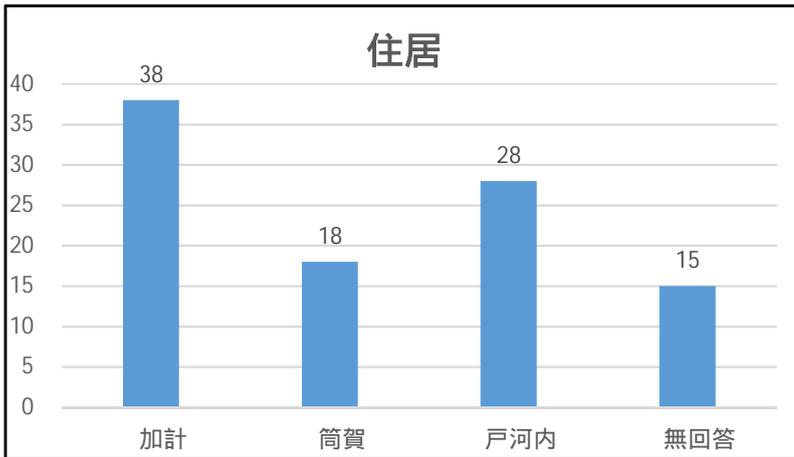
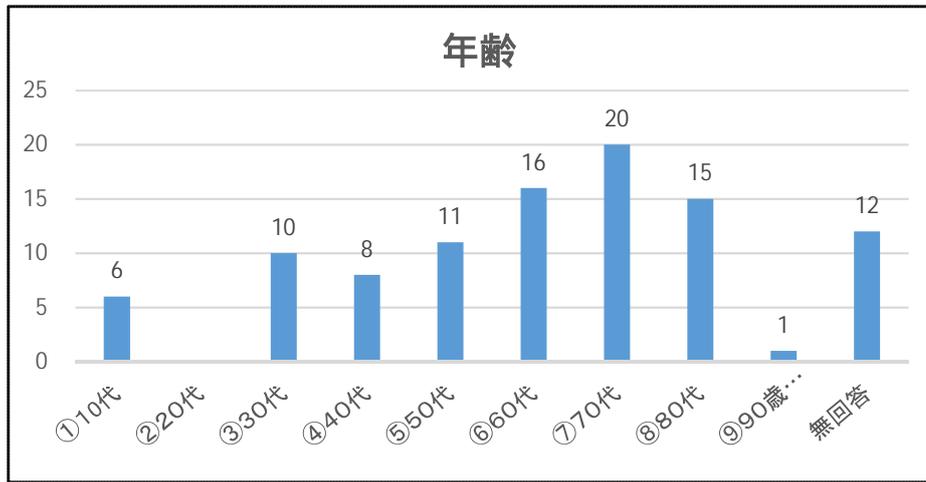


本町の教育に関するアンケート集計表(一般)

安芸太田町		総回答数 =	99	回答数	割合 (%)	割合計
	年齢	10代		6	6.1	100
		20代			0.0	
		30代		10	10.1	
		40代		8	8.1	
		50代		11	11.1	
		60代		16	16.2	
		70代		20	20.2	
		80代		15	15.2	
		90歳以上		1	1.0	
		無回答		12	12.1	
	性別	男		39	39.4	100
		女		50	50.5	
		無回答		10	10.1	
	居住	加計		38	38.4	100
		筒賀		18	18.2	
		戸河内		28	28.3	
		無回答		15	15.2	
問 - 2	「本町らしい教育に活用できるものは何だと思いますか？ 活用できそうに思うものにチェックを入れてください(複数回答可)。	豊かな自然		75	75.8	100
		観光		32	32.3	
		歴史		23	23.2	
		文化・伝統		38	38.4	
		人口減少・過疎		51	51.5	
		保小中連携		38	38.4	
		協調学習		27	27.3	
		ICT		18	18.2	
問 - 5	上記で記述いただいたような子どもを育てるために、あなた自身が協力することは可能ですか？またどういった協力なら可能か教えてください。	はい		51	51.5	100
		いいえ		30	30.3	
		無回答		18	18.2	
問 - 6	あなたは本町の教育についてどの程度満足していますか？以下の4つから選んでいただき、その理由も併せて記述願います。	とても		10	10.1	100
		まあまあ		41	41.4	
		あまり		21	21.2	
		まったく		4	4.0	
		無回答		23	23.2	

本町の教育に関するアンケート集計表(一般)



1 あなたが考える「本町らしい教育」について、ご自由にお書きください（自由記述）

番号	回答内容(重複あり)
1	問1 自然を活用した教育。人数が少ないことから、一人一人に密接した教育。
2	問1 すべての子と親が子の成長に合わせて、望んだ教育内容を選択し、それぞれが望んだ自己の実現を目指すことができる。そのためには、教育を提供する側から「本町らしさ」、「どんな子を育てたいか」という枠にはめないことが重要ではないかと考えます。
3	問1 温井ダムが出来て以来、太田川は清流を失い、鮎が育たず、鮎掛けをする人も少なく、川で遊ぶことも出来ず、本町らしさを取り戻すには山と川が生き返ることが教育につながる。
4	問1 時折マスコミに登場してPRしているのは認められるものの、継続性、発展(拡大)性が無い。一発花火の様にすぐに忘却される。
5	問1 どこを見ても荒れ地、道路のほり雑草だらけ。川でも見渡されるようになればいい。
6	問1 地域に密着した教育。子どものやりたいことを自由にさせる。個性的な自分の考えを尊重して何が出来るか考えます。自分が何を希望する職業が見つかるようにする。
7	問1 児童数減少のある中で、そのメリットを活用して、一人ひとりを大切に教育してほしいと思います。
8	問1 本町らしい教育を想像すると豊かな自然を活かしたといったことを思い浮かべますが、本町らしさというものが必要なのでしょうか？本町らしさよりもこの環境での教育には都会と比較してのメリットがこれだけありますといった問いかけの方が本質的のような気がします。
9	問1 近所には、子どもも小中学生もいないので、子どもの教育についてはよくわからないが、都会でも田舎でも同等な教育を受けてもらいたい。最近リモート授業などリアルタイムで勉強できるらしいので、遠隔授業を充実したらどうか。
10	問1 私が考える安芸太田らしい教育とは、自立する子どもを育てるというものです。過疎化が進むというのが非常に高いレベルの教育地域ということになれば魅力的である。過疎地であればこそリモートワークが有効であり、人を安芸太田につなぎとめることができる。
11	問1 本町らしい教育かはわかりませんが、安芸太田町だけではなく広島ならではの場所へ行き、それぞれがたくさん勉強できていると思う。
12	問1 自分が生まれ育ったところは大切なところだといつも思えること。
13	問1 常に変化する社会においても主体的に活動し、自らの人生を生きていける人の育成を目指す中で、当町の特徴である「自然」、「少人数」を活かすことで、高いレベルでその基礎が備わっている。
14	問1 自然環境(特に清流河川)を愛し、生息生物をいつくしみ、環境を大切にする精神を育てる教育。
15	問1 自然の豊かさを感じられる、神楽などの伝統文化継承、異年齢との交流、多文化との交流(ALTなど)
16	問1 高齢なので考えがそこまで及びません
17	問1 大人自身の教育が必要。子どもに望む前に大人自身の生活・言動を見直す。
18	問1 のびのびとした風土で年上年下に関係なくのびのびと学び、遊ぶことができる教育が本町らしい教育と考えます。
19	問1 教育について、保護者の立場で考えると、子どもの将来を考えると高学歴、高収入を考えて学力中心の教育になる。そうした教育を受けた子ども達は、いずれはこの安芸太田町を離れ、都市の高校、大学に行き、そして都市で就職するようになる(リモート会社が増えれば別であるが)。こうした現状を考えると郷土(故郷)を忘れない教育が重要になると考える。つまりは、郷土色を織り交ぜた教育をする。
20	問1 思いつきません。
21	問1 ICTを生かした授業。
22	問1 保小中連携もいいと思いますが、安芸太田小学校、中学校と一校ずつにしていきたいです。少人数の教育では、大きな海に出て行った時の心配もあり、一人でも多くの人と接して学んでもらいたいと思います。
23	問1 鳥取県立智頭農林高等学校を参照されたい。本町においても農業科、林業科を設立すべき、放置された私有林、耕作放棄地を寄付してもらい、学生にも実践的な林業、農業を学習させる。「農業を始めたい人の学校」 https://forms.gle/vUjrUAA1Kb6Zd5o67 参服、講師を常勤で雇うことになれば、こうしたシステムを利用することも可

24	問1	教育と合わせて過疎を考えないと、外から内へ、内からは外へ仕事に行く。定住したいと思わせる町にできると良いと思う。将来何になりたいかに対応できる教育、自分が町を何とかしようと思える教育。
25	問1	運動施設を使いやすくする(運動する場所を増やす)。森を使ってアスレチック、サバゲーフィールドも作る！体育館の設備を充実させる。バスケットコート、スケボーエリア、アスレチックなどを作る！高校の昼休憩のときは外出ありにしてほしい！高校に食堂が欲しい(地域の人も使える)。オンライン授業を活用していく。町が9時でも動いている町にしたい！
26	問1	豊かな自然環境に恵まれた地域の良さを取り入れつつも、時代の流れにも積極的に目を向ける。また、今まで積み上げられた伝統を活かした教育も大切にしてもらいたい。
27	問1	この町で暮らせる魅力、興味ある事などを掘り出してみること。
28	問1	街の中ではできない自然の中での教育。
29	問1	将来町に住むか住まないか、帰ってくるか出たままかに関係なく、とにかく安芸太田町が好きである(嫌いなわけがない！)ことを再認識できる。どこに住もうと心の中に必ず安芸太田町がある。そういう人間を育てる教育ではないかな？
30	問1	四季を感じる人間性豊かな教育
31	問1	近所に子供がいなかったためわかりません。
32	問1	少人数学級の利を生かして、教師が一人ひとりの個性や才能を見つけてあげてください。
33	問1	それぞれの違いや個性を認め合う、思いやれる、人に優しい人間になってほしい。
34	問1	修学旅行で民泊受け入れをされる日が再開されますよう願っています。
35	問1	少人数のクラスで自分の考えを全員が発表できる機会があること。異年齢交流が当たり前であること。川や山が身近にあり、日常的に一般的な「非日常」を体験できること。
36	問1	小規模な町なのに、小中が2～3校点在し、生徒数も少ないのに用事をしても盛り上がり欠けると思う。
37	問1	地域のひととの距離が近いので、地域の方々と協力した教育。自然にたくさんふられる教育。小規模校ならではの学び方。
38	問1	小中、町内、一校、加計
39	問1	高齢化で少し遅い(関心が薄くなった)安芸太田で何が出来るか？(元気また、力がなくなった)自分なりに人に迷惑をかけないように頑張ること。
40	問1	小規模での授業。
41	問1	教育は子供と先生らが町の物語、自然、物、施設・・・を自由に利用、活用。それら全てを「教えて、一緒に笑う」ので良い！
42	問1	私は高齢で通院が仕事で、孫もいないので子育てについて考えたことはありません。アンケートに合う者ではありません。園の施策もあるが、人口が減少するのは明らかであるので、難民(移民)をもう少し受けて、過疎の町として、その教育等の施策を考えてください。
43	問1	本町らしい教育と問われると、他の町と比較してその特徴たる教育を言うものかと考えると、私事ですが、これまで他の色々な地方での生活環境を体験して35年後に関西から故郷の町に帰り率直に感ずることは、子供のころと変わらない山の自然が残った我が町が大変愛おしく思いました。これからも大事な自然環境の大切さを教育の中に活かして、自然からの多くの摂理から生きることへの興味と関心をもち社会に出て生きる力を養うための教育環境を築き上げてほしい。そこで、生きる力を養う教育とは何か、我が町での体験教育を通して「らしさ」を探してみることが必要かと思います。そのことは以下の質問に対する解答としてください。
44	問1	安心して生活ができて教育にいかされること。田舎を誇りに思えること。
45	問1	安芸太田町は太田川に沿うように点在する平野に集落があり、豊かな自然に恵まれている。最新の宗教の問題や、中国、ロシアの脅威を知るにつけ、一致団結した集団の力を感ずります。同じ時代を生きていくには、多様な教育を必要とし、進歩めざましいメディアの利用を活用し、かつ恵まれた自然を科学的な目で見つめ、大事にしていく必要があると思います。

46	問1	「本町らしい教育」の言葉だけでは概念がつかめない。「安芸太田町らしい教育を」つきつめれば、「安芸太田町だからできる教育」ととらえて良いのではないかと思う。又、教育大綱の改定とあるが、現行の大綱が示されていないので理解ができない。本町は県内で人口が最も少ない町であり、高齢化率50%超で少子化、過疎化に歯止めがかからない町なのでこれを逆手にとった教育行政の実践に努めれば、特徴のある教育ができるのではないか。保、小、中、高一貫教育など
47	問1	連携教育の推進ができる環境にある。協調学習、ICT活用、科学アカデミー等の深化により本町らしい教育の姿が浮かんでくるのでは。
48	問1	児童数が少ないからこそできる、一人一人を大事にする教育。林業がさかんな町なので、木工など、都会の学校ではスキルを身に付けることができる教育。
49	問1	町外から人が来る皆さんにアンケートをとったらと思います。
50	問1	何を今さら教育大綱か意味が分からない。教育大綱の中で上殿小の休校について議論すべきではなかったのか。町内で年間出生数が20人程度では教育はありえない。
51	問1	「本町らしい教育」の意味付けが良く分かりません。公立学校教育にしばって言えば、文科省の強い指導のもと、どれほどの裁量が、自治体にあるのかも疑問です。あえて言うなら、こども一人ひとりが安心して学校に行ける、あるいは教育を受けることのできる町、豊かな自然から競争ではなく共生を学ぶことのできる町、理不尽な規則がない町、世界の子供たちとつながって社会の問題を考えることのできる町、～の教育を考えます。小さな町の小さな学校、教育の素晴らしい面を活かすべきです。
52	問1	こども園がデイサービスセンターと目と鼻の先の距離にある(ポニョのような)フリースクール
53	問1	礼儀の基本を身に付ける。協調性を養う。自立心を育てる。目標を持つ
54	問1	小規模ならではの特性を活かす。一人一人の子供が自分の目標に向けて学習や部活動に打ち込める教育環境、教育内容の充実。
55	問1	数少ない子どもたちがのびのびと育つような、あったかい教育
56	問1	一人ひとり(個)を大切にした教育。自然に恵まれ、地域とつながりがもてる教育。
57	問1	まず教育長の立場とその経緯、指導者の質の悪さの理由を町民、町職員知っていない。そもそも指導者のレベルの有無、質すらあることを知らない。これらを周知、解決しない限り次のステップには進めない。私の考える「本町らしい教育」は無限の可能性がある為、特に記述しないが現状の「本町らしい教育」は学力、運動能力等を十分に引き出せない環境がそろいすぎているとしか言いようがない。もし解決出来たら県内過疎NO1の自信をもってとりあえず勉強だけはできる、テストで点数だけは取れる町にしていくことが「本町らしい教育」の第一歩だと思う。決して難しくなく時間もかからないと思っていただきたい。
58	問1	よその子どもも遠慮なく我が子同様に叱れる。
59	問1	少ないからこそ、1人1人に目の行き届いた教育。地域と関わりながらの教育。
60	問1	豊かな自然(山、川、森、里)
61	問1	自然の中でのびのびとできる。また、自分の思いや意見が言える様な教育であって欲しいと思います。ひとりひとりの個性を生かすことが出来る。
62	問1	小人数だからこそできる個性を尊重した教育。
63	問1	豊かな自然、少人数の特徴を活かした教育の実践。
64	問1	我が家には子供がいないので「本町らしい教育」とは良く分かりません。
65	問1	都会では体験できないのが「川」「山」での体験と思います。私自身が体験したのは魚を網で泳いで捕ること、雪山の登山、魚釣りです。勉強は学校で嫌でも教わるのだからこの町は自然や農業が武器になりうる町なのだからまず教育について考える前に大人が学ぶべき勉強不足。
66	問1	体力づくりが少し劣っている様に思います。(屋内でのスマホとかYouTubeとか普及しているので)
67	問1	自然災害に特に地震に対して、強い土地柄を生かして人口増につながる教育をする。
68	問1	小規模な学校だが、1人1人の個性発揮できる。

69	問1	少子化で子供さんも家庭、学校においても大切に育てられている様子がよくわかります。安芸太田町から市外県外に出ても生活していく力故郷を忘れない子供になる教育町作りも大切だと思います。
70	問1	基礎学力の定着はもちろんがんばるが個々がやりたいこと、なりたい自分を追及し、それに向かって進んでいける教育。型にはまらない教育。
71	問1	あまり高尚なことは分かりませんが『広辞苑』によると「教育とは教え育てること、人を教えて知能をつけること。となり、又『躰』とは礼儀作法を身につけさせると辞書にある。本来教育は家庭の中・社会・学校の三者一体となり取り組むべきものと理解しているが現状は家庭(親)は学校に求め(親の責任放棄)教育はサラリーマン化し社会は個人の問題としてとらえているのではないかと思える。核家族化の中で本来『人』として社会の中で育まれてきた生きていくうえで大切な物が失われてきているのが現在の姿ではないかと考えられる。又『らしさ』という言葉は極めてあいまいで何をもって『らしい』と云うのか理解しがたい。
72	問1	少人数の利点を生かす教育。「田舎」だが、大都市に負けないICTを活用した教育。
73	問1	70年前は農林業でほとんどの家庭が自然で自給自足の生活で子供も数人兄弟姉妹で小学校200人中学校3校が集まり350人ぐらいでしたが文明社会になりオール電化水洗トイレとなり山の中は人口減少過疎になり老人ばかりで淋しい
74	問1	小人数を生かした教育(一定以上の人数(単式学級)は必要)
75	問1	学校の規模が小さいからこそできる一人一人に寄り添うことのできる、一人一人ば変わる力を引き出すことのできる、共に思い合える温かい教育だと思います。豊かな自然や文化など身近なことに出会わせてあげながら子供同士の関わりの中で解決し生き方を考えることのできる教育を望みます。
76	問1	少人数学級だからこそ家族・学校が密になり学力を上げることが最重要だと思います。最新の全国学力学習状況調査において、小学校が県内最下位だったと聞いています。学力をもっと高めてほしいです。
77	問1	自然に囲まれているので机上だけでなく自然の中で多くの体験学習が出来る様な。
78	問1	とても難しい問題です。では今まではこの町らしさがない教育だったのでしょうか？そんな事はないと思います。「本町らしい」という事をつ追求するとかえって狭い視野でしか議論されないのではないかと思います。
79	問1	豊かな環境の中で自分達が生活出来る事の自覚、感謝の心を育てる教育
80	問1	安芸太田の豊かな自然や地域の人とかかわりなどの中で、感性や考える力、コミュニケーション力など高めていけたらと思います。
81	問1	ICTを活用して、他校の生徒やお友達と交流しながら社会性を身につけていけること。
82	問1	地域の人に支えられて素直な子が育つ教育。

2 「本町らしい教育」に活用できるものは何だと思いますか？（その他）

番号	回答内容(重複あり)
1	問2 高校、大学、リカレント教育を含めた連携 生涯学習
2	問2 加計高校の農林科をなくした事が衰退の原因
3	問2 光通信の整備によるインターネットが都会と同様に使えること
4	問2 少人数の学級
5	問2 探究活動
6	問2 町のくらしと田舎のくらしの違い、良いこと悪いこと
7	問2 地域の人材
8	問2 少子高齢化を逆手に取った教育
9	問2 海外 国内
10	問2 住んで見たい 住みたい 住んで良かった 保障制度
11	問2 よそから知識を持った方！指導して下さる方！
12	問2 中高連携
13	問2 林業
14	問2 加計高校自体全部
15	問2 高齢者との交流
16	問2 ~ 高校も

3 上記でチェックしたものを組み合わせて、具体的に思いつく教育のアイデアがあれば教えてください(自由記述)。

番号	回答内容(重複あり)
1	問3 高齢者による文化・伝統(神楽など)を学ぶ授業。保小中と各世代が連携し、自然を利用した遠足や体育など。
2	問3 小学校、中学校、高等学校の枠組を取っ払って、年齢、学年にとらわれず個々人の学習スピードや学びたい分野に合わせた教育を提供する。能力による単位認定と出席による単位認定の両立。オンライン授業の拡充。不得意分野を免除し、職業訓練等も含めて得意分野や興味のある分野を重点的に選択し、学ぶことができる。地域の大人についても希望に応じて同じ枠組みの中で学びなおすことができる。スポーツ等(特に団体競技)についてはもっと広い範囲の学校と連携し、レベルの高い指揮者を確保する。
3	問3 デジタル教育と言われるがパソコンより習字、算盤の学習時間を多くとってほしい。読解力をつけ説明書などを理解する能力をつける。
4	問3 東城(庄原?)の高校のナマズ養殖とかに習い、鮎、ウナギ、スッポン養殖とか
5	問3 そこそこの集落にもまだ年寄りいると思う。今なら聞ける。だんだん年寄り少なくなる。伝統とかも話してもらえと思う。
6	問3 地域と接触して体験活動等をさせる。文化・伝統は積極的に参加するよう勧める。
7	問3 過疎の町でもICTを有効活用すれば豊かに暮らせる。
8	問3 豊かな自然環境がありながら人口減少によって静かな周囲があります。インターネットも整備されていることで学習においては都会と比べて学習に適した環境ではないかと自負しています。
9	問3 安芸太田町も人口減少が著しい。私も中学校を卒業してから広島に出てきて会社勤めをしたが、子どもの頃から家の跡取りなので、田舎での人と人の付き合い、田舎での家の仕事の手伝いを経験している。定年になったら田舎に帰って地域の役に立ちたいとの思いがあった。しかし同級生はほとんど帰ってこない。子どもの頃からグループで学習したり、スポーツ、地域での活動等、一緒にしたら連帯感が生まれて、少しは変わった環境になったのでは?
10	問3 AIに特化した教育を行い、例えばインドのように非常に優れた人材を排出させる。その為には、少数精鋭で全体のレベルを格段に上げることが先決である。
11	問3 豊かな自然の中で、文化や伝統をそれぞれ話し合っ本町の魅力を見つけて欲しいです。
12	問3 若いころは市内に出て働いても、どうしても地元へ帰ってきたくなる何かがほしい?
13	問3 森の中やたたら跡、少人数集落、神楽団といった様々な環境の中で、先生がファシリテーターとなりテーマに沿った積極的な議論をすることで、自らの考えをまとめ、伝える能力の向上を図るとともに、地域の特徴を理解することで郷土愛の育成を図る。
14	問3 特別天然記念物「オオサンショウウオ」の育成と生態観察可能区域の設立と施設の設立。清流の河川環境美化設備。(漁業組合と連携して)
15	問3 豊かな自然と保小中連携、幅広い年齢でのキャンプや体験学習を行う、小さい年代は異年齢との交流と年長者への憧れを学べ、年長者へは小さい世代等への思いやりなどを体験を通して学べるのでは。
16	問3 豊かな自然を感じながら登下校するのもいいと思います。
17	問3 人口減少しても、人・仲間との繋がりを持つ教育。
18	問3 言うには及ばず、豊かな自然安芸太田町。自分の周りは皆自然との自然の為に人口減少になっている。なぜ自然いっぱいなのに人口減少になる。これを協調学習しなければならない。
19	問3 人口減少・過疎化ならではの、特に、都市部の子どもや先生と交流する必要があるのではないかと思います。そのためにICTを使ってインターネットをりようする、また、豊かな自然の中で大空の下での保小中合同の校外学習はいいと思います。
20	問3 年々人口が減少し、過疎化が進み豊かな自然も荒廃し、少子化により後継者不足による伝統文化も衰退しつつある。こうした中において、自然や伝統文化に触れる教育が重要になると考える。例えば、神楽を体験させるなど伝統文化に直接触れる教育、またアウトドアやスキー、登山、川に専門的な知識を持った人を介して、自然の良さを教える教育をする。
21	問3 当町を訪れた生徒を地元の人に質問したりしながら当町の歴史や文化を知ってもらうため。
22	問3 ICTを生かし、文化や伝統を発信する取り組みや豊かな自然があるからこそ、今問題になっている地球温暖化について考える。

23	問3	ここ何年かコロナで閉じこもりの生活ですが、修学旅行等の民泊をしてきましたが、これも高齢のため限度があります。校舎や空き家を利用して修学旅行、観光に使用し若い人、加計高校の卒業生、また、移住の方々の働きの場所になればと思います。また、筒賀には「大栄和上」立派な歴史があります。
24	問3	授業の中で開墾を経験させる。自伐型林業を实践させる。知識だけでなく体験してもらう。大規模林業だけでなく農家が培ってきた栽培技術、苗を自分で育て、定植する。四季に順応する本来の農業を教えることも必要。何千万もの初期投資をして借金を抱えて農業をすることの是非を考えることも必要。且つ、最先端の技術を教えることも必要。環境負荷の少ない農業、林業とは何かを考え、実践させる。
25	問3	教育も大事だが、定住できる仕事が欲しい。
26	問3	観光の案内をボランティアとして加計高校がすることで、地域のことを細かく知れて町から来た人に安芸太田町の見どころを伝えることによって興味を沸かすことができる。中高連携で探究活動をする上で、安芸太田町産の商品を扱ったりするなど、オンラインでの活動。
27	問3	地元の方より、以前は運動会で「加計げんこつ踊り」や「津波太鼓踊り」をやっていたとの事。昔からの文化、伝統を次世代に継承していくことで教える高齢者にとっても活躍の機会となり、もしかすると良い循環が生まれる可能性があるのではないかと。地元の良さを知り、伝承者としての誇りを身につけてもらいたい。
28	問3	町内豊かな自然がたくさんありますが(三段峡など)、以前に比べると活気が無くなっているように感じるから力を入れてほしい。
29	問3	修学旅行生徒を登山、夜は神楽、星空、キャンプファイヤーなど1泊2日で小学校5、6年生の修学旅行を市内の学校へPRしたらどうでしょうか。積極的に。
30	問3	自然、観光地が多いので、そこで学習できることを学んだり、レクリエーションでもできると本町の素晴らしさを感じることができるのでは？
31	問3	いいところも、マイナス面も全てひっくるめて、安芸太田町を見つめ直す学習を発達段階に合わせて進めることで、自らの「安芸太田町愛」を呼び覚ます？
32	問3	お互い様精神を育む町(福祉教育)
33	問3	自然の中で生きる学び。地域との繋がり。災害にも対応できる力。地域からの学び。(米、野菜、花づくりや魚の取り方、危険動物や虫への対応、雪、山、川的生活いろいろ)
34	問3	身近の野菜、雑草の名称を原色図鑑(ハンドブック等の小さい)を手調べ(昔、道端の雑草の正確名称をほぼ全て教えてくれた小学生に感動しました)昆虫も同様に、小さなものまで名称を、山の雑木の名称も知る。自然がいっぱいと言いながら何の花か、木か、虫か答えられないのはもったいない。知っていることは大きな自信になると思います。特に、小学生の記憶力は抜群です。
35	問3	コロナでなかなか交流できないから、ICTで都市部が世界中の人と接してほしい。
36	問3	(例)に書かれている通りで、私もそう思います。
37	問3	川遊びや登山を体育の授業に取り入れる。生活科や理科、社会とも併せて自然観察をおのずとできるようにする。全校活動の中で高学年の姿を低学年が自然と学ぶ。
38	問3	協調学習による伝統芸能や自然観察の充実。
39	問3	豊かな自然の中で川遊び、虫取り等を行うことで観光を楽しみながら自然に触れ合い、自然との過ごし方を学ぶ。(こういう会を開くときにスタッフ側をさせることによって、会を運営させることの大変さを教えるための知識が身につく。)
40	問3	教育は一生
41	問3	川、山、水、豊かな自然を、観光に結び付けるよう。
42	問3	自然を生かして安芸太田町の学校で交流する。
43	問3	豊かな自然(安芸太田に豊富にあるから)。歴史(昔を知らないと未来は見えません、絶対に)。保小中連携(縦と横の接触を広げるため)。ICT(避けては通れないから、子供らに「自己責任」ってあるよと教えるため)。その他(知識の頭数は多いほうが良い！安芸太田町のためにもなる！)。
44	問3	国へ働きかける。

45	問3	子どもの教育イコールどんな社会人になるかが子どもの時の教育環境が大きく影響してくると思います。社会人になればまた、社会環境で左右され、そこで多くの苦難等生き抜く力を養い、お互い良い社会人を形成する大人になれば、次の時代の子もたちに伝える教師としての使命があると思います。具体的アイデア 本町らしさの教育環境には、まずその豊かな自然環境を活かした体験型教育が望まれます。なぜならば、都会部にはない豊かな自然の森があり、そこで暮らす生活の知恵が今の自分を育ててくれたように思います。このことが民泊の生徒さんたちとの体験を通して、多くの発見をさせていただいた。わずか1泊2日の出来事です。一方我が町の子どもさんには、この田舎体験の感動を一緒にできれば教育の一環になるのではと思います。(民泊歴10年)外部の世界の方には、町の素晴らしさを感じることができそうですが、毎日同じ世界にいるとその良さが気づきにくいものです。この課題の改善に教育カリキュラムの中に体験教育ができる機会を幅広く知っていただくために民泊受け入れ者が伝えることで、新たなる地域の魅力的な教育になるのではと思います。(民泊受け入れ講師として、小学校の出前学習の技術者講師として、また、若い研修生の自然を守る取り組みに夢を託すサポーターとしても今後も続けたい)次に保小中高の人間教育としての総合学習が学べる地域連携による学習フィールドとなる教育体制を構築することで、子どもさん達が自由な発想で学べる町「あきおおた」を産官学が推進する体制づくり、過疎の町からSDGs教育最先端の町「あきおおたの暮らしプロジェクト」として実践できる希望の町を期待したい。(関西の自治体＝野迫川町で実践して居られる自治体・大学・住民の事例を知って)
46	問3	体験学習
47	問3	確かに他地域にはない豊かな自然と、守り育てている人々がいる。歴史的な流れをみても、観光と教育が若い人たちに託すのも妥当だと思う。いろんな項目が入る。歴史や文化過疎の事情を知ったうえで知った上で学んでいけばよいと思う。
48	問3	根本的には教育基本法があるので、その枠内でどれだけ独自性を出せるのか、具体事例をあげることはむずかしい。
49	問3	特に中高連携を密にすることにより進学の地元率も上げていくことにつながる。その視点での物心両面支援を拡充してゆく。森のようちえんへの方向性について、公立学校における純然たる導入は難しいように思える。(理念、保護者の思い他)従前の「山川活動」の拡大充実の方向性はどうか。
50	問3	自然に恵まれた林業のさかんな町なので、小、中学校から子供たちが親しめるように林業(木工・チェーンソー使用など)の特別な時間割を取り入れたり、加計高校では、もっと特化した学習スタイルを取り入れたりすることで子供たちが町に住める、就業することができる、人口を増やすことができる。
51	問3	保小中連携して何か皆一緒にできる運動会とか。町内年寄りばかり交通の便が悪い。
52	問3	教育のアイデアなんてありえない。長年積み上げて来た伝統を一方的になくしておいて。
53	問3	そもそも教育のアイデアという発想もひっかかります。学校教育は、子どもと学校職員と保護者との協働の場です。そして見守り協力するのが地域であり、教育環境を保障するのが行政だと思います。社会教育の面では、種々やっつけていけば良いと思います。地域は「師匠の宝庫」です。
54	問3	豊かな自然、放置された農地を活用して自給自足をめざしたフリースクール
55	問3	人口減少・過疎の状況と地域(豊かな自然)の良さを実感。町内での保・小・中(高)の連携や他市町村の子どもの交流を通じて、地域に誇りをもって生きていく力をつける。町外(学校、地域等)に、安芸太田の自然と来訪しての活動をアピール。
56	問3	昔からある地域の特性、伝統ある行事、豊かな自然とふれあいの中で市内ではできないようなことがたくさんあると思うので、自慢できるような取り入れ方をしてほしい。
57	問3	地域の自然や物、人にふれる機会を保障する。地域に出かけたり人の話を聞いたり物づくりを体験する。
58	問3	勉強面では人数が少ないという強みを生かし一人ひとりがとりあえず点数だけ取れる教育をする。スポーツ面は一刻も早く町内又は郡内の合同チームを造り情報交流しやすい環境づくりをする。レベルの高い外部コーチを確保しコストを下げることもできる。どちらの場合も児童、生徒が率先して活動することが第一前提であるため指導者の質が問われるが、いままでの体制が変わればすぐにでもできる話である。
59	問3	町内と町外の学生交流。
60	問3	子どもたちの豊かな想像力で、町の現状をどのように考えるか、地域が学習してみる。

61	問3	子どもの人数も減少している中、自分たちの学校だけでなく他の学校と交流を混じえ、学んで欲しい
62	問3	海の学校・海外の学校との友好協定を結び豊かな自然を活かしたスキー交流等で豊かな感性を育む
63	問3	豊かな自然でいうとこの町の川はとてもきれいです。町外の友人に写真を見せても驚かれる程です。正直自然の知ったかぶりをしてPRしているとしか思えない。庄原市や三次市は鮎の投網漁がOKなので太田川も解禁しそういった漁法に触れる体験をまず大人がしてから子供にPRしてみてもどうでしょうか？
64	問3	太田川、三段峡、温井ダムについて。
65	問3	人口が増えないと困るので、若い学生にこの町内又は近くで仕事と暮らしができるように魅力のある教育を考えおこなう。
66	問3	自然を利用し、山登りや、キャンプなどの自然体験を授業にとり入れる。自然がたくさんあるが、あまり利用できていないのではないかな。
67	問3	(例:に書かれた協調学習を実施する)当町に訪れた生徒さんと当町の小中高の生徒さんとの交流を短時間でも入れてみたらどうでしょうか。今まで交流はなかったように思います。
68	問3	最近ではコロナの影響で、お祭りや様々なイベントが中止されており、その中でも文化的なことがなくなっているので、殿賀の田楽を高校生が復活できたらいいなと思っています。
69	問3	将来につながる力の早期育成。小・中・高連携(保は少し早いかも...)「スポーツ」「芸術」「英語」「IT」等、特別の教育課程の設定を行い、個々の子どもたちの能力を早い時期より引き出す。
70	問3	地域に学校がなくなれば増々過疎は進みますが子どものためには安芸太田町一環教育にすべきではないでしょうか？湯来町もいろいろ考えた末スクールバスで一環教育を決めると聞きました。
71	問3	外国の方との交流は大変良い事だと思います。外国の文化、歴史等学んで良い所を日本の文化と合わせて町のために役立ててほしい。
72	問3	自然を活かした授業(スキー教室)や人口減少や過疎について考える授業により地元をより知ってもらうことにつながればと考える。
73	問3	本町の豊かな自然や文化、人にしっかり触れることで子ども自らが生活の中での身近な問題に気づき少人数の良さを生かして、友だちと対等に意見を出し合いながら深く考える力を育ててほしい。
74	問3	基礎学力がついていないと協調学習など一歩進んだ学習はできないと思います。子どもたちが興味を持ったことなどを1人1台タブレットを配られていますので活用して調べたり、理解を深めたいと思います。豊かな自然などは小さい頃から当たり前にあるものかと思うので、いずれ町外に出たときに気付けばよいのではないのでしょうか。
75	問3	安芸太田町の大自然を大切に観光客がより多く来てもらえる町にしたい。この自然に魅了されて移住されるのかもしれないと思われ方も。
76	問3	この町の宝は豊かな自然などたくさんあると思いますが、その中でも高齢者のパワーと知恵があると思う。ふだんの教育の中で自然体で子どもと高齢者が交流できる場所や場面があればいいと思う。
77	問3	豊かな自然があるので皆で草花や鳥、虫、名前観察して知識を持って外から来た人達に知ってもらおう。本町に何回も足を運ぶ様にして本町ファンに人口減少に役立つ。文化、伝統も今の時代あった様に作ることで若者の定住になるかなあ。
78	問3	地域に出かけたり、地域から学校に来てもらったり。
79	問3	文化伝統:子供神楽を体験し、将来的に本町の魅力として残して欲しい。ICT:ICTを利用して発表(他校や他県の生徒との交流の中で)できたら良いと思う。保小中連携:体育祭や発表会など大きな行事があっても良いかと思う。
80	問3	小さい町だからこそ、身近にある文化や自然や社会のしくみを地域を通して知ってほしい。広い世界の事はICTを活用して(田舎のデメリットを受けないように)理解してほしい。

4 あなたは、本町の子どもたちを「どんな子どもになってほしい」「どういう子に育てたい」と思うか、ご自由にお書きください(自由記述)。

番号	回答内容(重複あり)
1	問4 身体を動かし、実際の状況など見て触ってなど実体験する子ども。
2	問4 他人への尊重を前提として、なりたいもの、やりたいことを発見し、望んだ自己を実現できる子。
3	問4 百姓や森林仕事に従事し、精を出す。
4	問4 大人になっても地元を誇りを持てる人材。
5	問4 どんな時でも協力できる子ども。
6	問4 あいさつがしっかりできる子どもになってほしい。
7	問4 個性的な人。楽しみながら生活できる人。
8	問4 のびのびと、いつかは帰ってきて暮らしたいと思ってくれるように育てたい。
9	問4 いつまでも学ぶ姿勢を持ち、周囲に敬意を払えるような「大人」。 どんな子どもにもなってほしくはありません。
10	問4 元気でよく挨拶できる子どもになってほしい。
11	問4 やはりAIを自在に操り、できれば安芸太田に住んでもらい、経済的にも自立できる人になってほしい。高度なスキルを身につけ、在宅で仕事のできる人材になってもらえたらと思います。
12	問4 自然の中で育ち、人に優しくできる人に育ててほしい。
13	問4 自分の思っていることは何でも話せる子。大人になら何でも聞いてもらえると、いつでも相談できる大人が沢山いてあげること。
14	問4 優しい子、元気な子(何事にも積極的な子)、多面的な視点を有する子、勉強のできる子
15	問4 郷土の自然環境を末永くいつくむ郷土愛を持つ子であり、他地方(都市部)からの来訪者(生徒)とも交流親睦のできる人脈の和を広げられる子に成長してほしい。
16	問4 健康、人間関係、環境、言葉、表現といった保育で掲げる五領域を身につけた上で、毎日が健康で楽しいと思える生活をしてほしい。
17	問4 素直な子になってほしいです。
18	問4 挨拶のできる子。
19	問4 健康的な人。
20	問4 分からん。
21	問4 小さな規則等にとらわれない、グローバルな子ども。
22	問4 子どもたちが、いずれは(定年退職後でも良い)この安芸太田町に帰ってきたいと思う子どもになってもらいたい。
23	問4 誰でも頼れる人。
24	問4 自立できる。
25	問4 町を大切に。周りの意見も尊重できる子。
26	問4 私は我が子を狭い筒賀へ置くより広い世界をと思い、高校、大学と広島市内、東京へと行かせました。東京まで行った子は仕事を辞めると行った時点で広島市内まで帰らせました。もう一人の子は安芸太田町でお世話になっています。その子の息子、孫ですが、加計高校へ行くと言っています。ここまで来て本当に安芸太田町が大事だという思いでいっぱいです。魅力ある安芸太田町へ年配の人も若い人も力を合わせて安芸太田町へ住みたい町にしたいです。
27	問4 農業、林業の技術だけでなく、商品化する技術、木工やデザイン、加工食品の開発とともに、ICTを活用し、発展途上国や飢餓に苦しむ人々が実践できる栽培技術を広める。日本が世界に貢献でき、尊敬される学生を育てるとともに留学生を招き、母国で実践できる技術を教える。
28	問4 素直にたくましく育ててほしい。
29	問4 自分の個性を伸ばす。子どもの苦手なものを直していくのもいいが、角があり、何か一つに長けている方がいい。

30	問4	新しい事にチャレンジするのも良いが、まずは人としての基本である挨拶ができる子どもになってほしいです。(手本は大人が見せないといけません)
31	問4	町内の子どもが減少しているので、今の子どもたちが町内に定住してくれる環境づくり、若者の住める、働ける場所づくり。
32	問4	朝、夕の挨拶がしっかりできる子どもさんになってほしい。
33	問4	自分の住んでいるところが好きで、活気のある、ふるさとになるように考えてくれる。
34	問4	他人に迷惑をかけることだけはやめる！安芸太田町で学んだ自分を誇りに思う！等
35	問4	高校、大学と本町から巣立つが鮭のように本町に戻り、家庭を築いてほしい。
36	問4	人に優しく。動物にも優しく。自然に優しく。
37	問4	できればUターンして暮らしたいと思ってほしい。(その為の住みやすい交通、買い物、インフラの充実は、我々大人の仕事ですが)
38	問4	将来に夢を持てる人。
39	問4	自分が子育てをする頃は、朝から子供たちの声がにぎやかでとても懐かしく思い出されます。(子供たちが自由に遊んでいました。)
40	問4	「本町の子どもたち」というくりにするにはあまりにも広く、この人数の少ない町でも家庭により様々と思う。「我が家の子どもたち」には自分に可能性はたくさんあり、何でもできるし、何にでもなれる、制限のない夢を抱いてほしい。本町の子どもたちには人や家によって考え方、生き方は色々あるので自分たちと違うものは異物、異常と思わず「そういう人もいる」と多様性を認めてほしい。
41	問4	企業とか市内で働くのではなく、田舎で仕事ができ、収入になる様に考え方もある。
42	問4	自由の多様性を持ち、警察にお世話にならないような子に育ててほしいです。
43	問4	若くて学べば性に成有り、性に学べば考にしておどろかず考にて学べば衣にして寛ず。
44	問4	元気で明るい、力強い子どもに。
45	問4	自然が多く、運動や勉強を生かせる子供。
46	問4	子どもは子供らしくて良い！泣いて笑ってケンカすれば大丈夫！どんな大人になるか？の方が「重要」かな！「安芸太田町って何も無かったけど・・・楽しかったな」と思い出してくれる「大人」。後、街の子たちでは、経験、体験できないことをやっておくと、大人になった時の「生活のため、生きるため」の大きなアドバンテージになる！
47	問4	大人としては、どんな子といえればそれぞれが期待する事それぞれでしょう。逆にこんな人にはなってほしくない事を願っています。例えば、自分勝手な私利私欲で人を傷つけたり、公共の福祉を乱す人にはなってほしくありません。将来に夢を持ち、なりたい事が見つけられれば、それに励む努力ができる幅広い学習をしてほしい。(例えば、実践をされた憧れの人・されている先人を見て知ってその方の生き方を学ぶ等)
48	問4	自分のことを考えられること。他人にもやさしくできること。
49	問4	自然を相手にするのは、気持ち安らぐけど、反面、その脅威が重くのしかかり、投げ出しなくなることもある。強くめげない精神力が必要だと思う。
50	問4	豊かな自然、歴史、文化、伝統のある町の子として、たくましく健やかな安芸太田っ子として、将来の安芸太田町を託する人に育ててほしい。
51	問4	「森のようちえん」のような極端な仕組は必要ないと思う。月に1回、深入山にハイキングとかでもいいと思うし、家庭でも身近に自然があるのだから、家庭でも補うことができる。自然を楽しみつつ、とはいえ児童数が少ない環境で育つので、高校、大学で町外に出たときに、ものおじしないように、いろんな人とつき合っていけるスキルがある子になってほしいと思う。
52	問4	子供達が大きくなって又故郷に帰って役にたきたいと思う様なお父さんお母さんの育て方も有ると思います。
53	問4	教育は本人、保護者の個人的考えを優先させなければならないものであり、同時に社会の責任でもあります。社会の一員としての思いは、広い視野を持ち同時に足元もしっかり見ることのできる人間、おかしいと思うことはきちんと主張し、違う考えの人と議論できる人間、信頼を重んじる人間、深く思索できる人間です。

54	問4	生き残る力を持った子どもになってほしい（・学力で優良企業に就職、起業・自給自足、農業をやる、サバイバル・社会的に生き残る力でもよい）全て生き残る力となりうる
55	問4	豊かな自然、木を愛し育て、自然環境を整えて、杉・桧を植えっぱなしにしないで、間伐と枝打を必ずやり、雑木林も必ず手入れして適切な、森林環境を造りをする。山・河・海と繋がっているの、海を汚さない為にもビニール系のごみは手元で処理する青年になってほしい。
56	問4	自分の考え、自分の意思を持ち、自ら進んで学習・部活動に励む子ども
57	問4	同級生も少なく長い付き合いのまま育つのでみんな仲良く助け合ったりしてやさしい子どもたちになってほしい。
58	問4	郷土を愛する子ども。健康でたくましく生き抜く子ども。地域から出て自信をもって。
59	問4	親の教育から変わらなければならないが、地元に残る、地元へ帰ってくる最低限の常識を持てる子になっていただくための教育。
60	問4	人を思いやる気持ちを持った人に育ったらよいと思う。命の尊さ、人の痛みが感じ取れる大人になってほしい。
61	問4	協調性を持ちつつ、自分の意見を持ち、発言できる。自分を大切にできる子。
62	問4	働く場所が少ないので多くなればよい
63	問4	自分で考え行動できる子。やさしく他人を思いやれる子
64	問4	自然の中で育ち、人に優しくできる人に育ててほしい。
65	問4	自然の中でのびのびとできる。また、自分の思いや意見が言える様な教育であって欲しいと思います。ひとりひとりの個性を生かすことが出来る。
66	問4	自分の考え、思っていることをきちんと言葉にして伝えることのできる人になってほしい
67	問4	地元を愛する心豊かな人間
68	問4	学校の登下校の時のあいさつのできる人になってほしい。
69	問4	差別や偏見の無いどこへ行っても通用する子に育ててほしい。県で3000mが一番速い子や広商のキャッチャーなどいるのだからスポーツの教育に力を入れるべき。個の力がもの凄いのだから底上げもできるはず。
70	問4	町内での大人も子供も一緒にまず挨拶からだと思います。
71	問4	周りの状況、社会、世の中において、主観的だけでなく、客観的に冷静に観て自分の行動が起こせるようにする。
72	問4	素直な心を持ち感謝できる子供。周りに振りまわされない自分の考えをしっかりと持ってほしい。
73	問4	自分の考えをすなおに言える子供。どんな所で生活していても故郷を忘れない子供。安芸太田町に残れる町づくりもお願いしたいと思います。
74	問4	自然いっぱいの中で育つので、生き物や人、物に対して感謝をし、一人一人、一つ一つを大事にできるようになってほしい。
75	問4	自分を大切に、そして他の人を思いやることのできる心優しい子ども。自分の考えや夢をしっかりと持ち、それをきちんと表現しそれに向かって努力していける子ども
76	問4	成人して町外で生活しても安芸太田町で育ちましたと胸を張って言える人になってほしいです。
77	問4	困った人を助けて上げるやさしい親切な子供に育ててほしい
78	問4	地元を大切に、学業や仕事の関係で町外へ出ることになったとしても将来的に戻ってくることを考えてくれる。都会での生活をささえているのは中山間地があってこそを理解してくれる。
79	問4	多様な考えを受け入れ、考えることができみんなと助け合える子。人を大切にできる子。
80	問4	社会生活において協調性のある思いやりのある子どもになってほしいと思います、そのためには人の意見を聞く自分の意見を発することが大事だと思います。やはり学力のある子どもに育ててほしいです。
81	問4	子どものうちは素直に育ててくれれば良いと思います。
82	問4	現在の教育を基に全社会の力になれる子供に育ててほしい。

83	問4	伸び伸びとお互いの個性を尊重出来る人に育てほしい。今学校へ行けない子供さんがいるなら行ける様にしっかり支援して下さい。
84	問4	おおらかで器の大きい大人に
85	問4	活発で自分の意見が言える子
86	問4	いろんな人の良さや違いを認め、共にかまっていけるような。柔軟な考え方や、人へやさしさをもって、未来に希望をもって歩いていける子
87	問4	自然の中で危険予知ができる子。自分の考えや意見を言葉にして、他者へ伝えられる子。他者を敬える子。自立した子。都市部との教育格差の無い社会性のある子(町内で育った自分自身の反省も込めて...)
88	問4	気がるに挨拶出来る人に。丈夫な体を作る。
89	問4	多様性や、個の主張を大切に社会の流れがあり、大事な事だけど、みんなが助け合っ社会が成り立っている事を理解できる子になってほしい。わがままを言えば物事が通るといような大人になってほしくない。(そんな保護者や大人が多くなってきている気がする)

5 子どもを育てるために、あなた自身が協力することは可能ですか？またどういった協力なら可能か教えてください。

番号	回答内容(重複あり)
1	問5 子どもたちの見守りなど
2	問5 休憩場所の提供、社会体験の場の提供。
3	問5 足が悪くて自分でできないから障がい者。
4	問5 小、中、高の一体感がない気がする。
5	問5 積極的に会議等に参加して話し合っ考える。ボランティア活動に参加する。
6	問5 具体的には答えられませんが、内容を提案していただければ自分の能力にあった教育ができると思います。
7	問5 今回のようなアンケートや相談の範囲内であれば可能です。
8	問5 農業の手伝い。
9	問5 リモートで何かしらのお手伝いはできるかもしれませんね。
10	問5 本町に住み続けること。自然を大切にすること。
11	問5 もう時間がありません。
12	問5 休日等における時間の提供(教育に関する知見はないのでボランティア等)、資金の提供(できる範囲で)
13	問5 重度身体障害者(両足人工関節、右眼失明)、歩行自体困難
14	問5 親御さんだけでなく、周囲の方の悩み相談や子育て支援
15	問5 丸こんにゃくの作り方は教えることができます。
16	問5 地域の子どもに声をかける。挨拶をする。
17	問5 私自身協力は致します。まず、自然の中で子どもと一緒に行動すること。身の回り自然ばかりのこの町安芸太田町、全部の自然を生かすこと不可能。でもこのうんざりする様な自然でもこの自然を世界中に広めてくれる様な子どもに育てほしい。
18	問5 今はすぐに思いつきませんが、子どもが自由に遊べる居場所づくりとまではいなくても見守りくらいならできるかもしれません。
19	問5 安芸太田町で暮らすことの良さを子どもたちに見せることが必要である。特に、我々高齢者が生きがいを持って暮らすことが大切である。
20	問5 自分自身がそのような人になり、子どもたちに教えていく。
21	問5 難病の夫の介護と田んぼや畑があるので難しいですが、冬になれば何か私にできることがあればさせていただきます。
22	問5 農業体験をさせる。特定非営利活動法人、島根有機農業協会による有機農産物の生産工程管理者の講習を受けさせ修了証書を取得させる。有機栽培とはどういうことかを考えさせるとともに、その法的な根拠を理解させ、SDGsを考えるきっかけにしたい。
23	問5 声かけ、見守り
24	問5 子どもの個性を知り、得意なこと、苦手なことを把握しておく。
25	問5 何ができるかはっきり記入できませんが、挨拶について少しお話など
26	問5 どちらともいえないが高齢なので行動できない。
27	問5 私の方から声かけ、挨拶をします。
28	問5 協力できる範囲であれば
29	問5 教師ですから色々。しかし、定年過ぎてますし、いいえかな？
30	問5 町外への通学の送迎(仕事後であり正直できるか不安である)
31	問5 畑がないので...？育成のための納税くらい。
32	問5 できることがあればですネ！
33	問5 年老いてお手伝い出来る事は無く、優しく見守っていくことが大切だと存じます。
34	問5 大人のパターンの提供。(現在の仕事の話や、学生時代の話や、学生時代の話をサンプリングの一つとなること。)また、このようなアンケートの解答や教育に対する考えを提供すること。

35	問5	年齢から無理？今までは学歴がなくても何でも出来た。雑学(木切方、趣味、芸能全般)
36	問5	積極的に話を聞き、それを他者に伝え、解決してもらえるようにする。
37	問5	分からない
38	問5	うちの施設を使ってもらうのは大丈夫です構いません！質問などに答えつつ、その子なりの「答」を出してもらえれば。
39	問5	子どもは、昔から「親はいなくても子は育つ」と言われています。あらゆる知識を詰め込ませることで一流の職業に就く競争社会への学校教育が使命とは思いません。子どもさん達には人それぞれの能力の違い・開化の違いがありますし、いつか花開く時期があるかは分かりませんがその機会が来た時、子ども教育の時の刺激の一遍で役立つ基礎に私たちが反面教師として社会人講師として教育に参加できれば幸いです。(提言ー活用教育の項目毎に、それを実践している地元講師が参加できる安芸太田版カリキュラムを構成～まちづくり体験講師・環境工学講師・民泊受け入れ者等の協力なら可能かと)
40	問5	最近、暇な時間もふえているが、自分の為、家の為にやることは多い。観光の子供への教育というのは美化につとめたり、来客との対応があると思うが、町民としてできることは協力したい。具体的には今答えられない。
41	問5	本町に生を受け、町の幾多の先達に育てられてきた者として自分にできることがあれば協力を惜しまない
42	問5	親子で参加するイベントに協力する。準備など。
43	問5	この間新聞に出ていましたが年寄り子供等一緒になって出来る事はグランドゴルフ等後子供が喜んで手紙等もらった。又誘ったら来てもらえると思う
44	問5	将来の子供達の為にできる限り協力はしたい
45	問5	協力できることは何でもします。(国際交流の活動、国内での社会活動などの話と対話など)
46	問5	学習環境づくりと学習機会の提供
47	問5	地域であいさつを交わす。
48	問5	協力もしますしアイデアも出しますが、教えたくはありません。是非聞きに来てください。
49	問5	学校等が開催する地域行事への参加など
50	問5	身近に学校に通う子供がいませんが、何か出来ることがあれば協力していきたいと思います。
51	問5	直接的な指導・支援は難しいが側面的に協力できることがあれば協力したい。
52	問5	こちらからもあいさつをする。
53	問5	大学の頃も部活のキャプテンをする程体力には自信がありスポーツに関する事なら協力できます。川に関しても町外で漁を10年以上続けているので協力できます。
54	問5	もう高齢のため
55	問5	今は忙しくてできません(多分2～3年間ムリでしょう)
56	問5	分からない
57	問5	私は修学旅行での民泊の受入れを体験しています。豊かな自然季節の移りかわりが素晴らしい所だと思います。受入家庭も高齢者の方が大半でおじいちゃんおばあちゃん家に来たよだと言っている子供もおられました。遠慮なく何でも話してくれました。
58	問5	高校生と小学生などが交流をし、キャンプや林業体験をしていき、どちらともいい刺激を与えられる機会になりそう。
59	問5	残念ながら今は病気を患っていて協力出来る体力がありません。
60	問5	土日祝日などしか会えませんが自転車に乗って遊んでいるのを見たときは気を付ける様声かけをしております。
61	問5	私はお手伝いはできません。許して下さい
62	問5	今の時点では思いつかない
63	問5	地域の一人として、子供たちの学習のために学校と連携できることはしたいと思う。
64	問5	学力を上げるために日々の学習状況をチェックすることは可能ですが、やはり先生方が教育の中核かと思っています。

65	問5	70歳過ぎの体力でも力になれる事が有れば進んで協力します。
66	問5	ふだん学校へ行ったり子供さんとの関りがほとんどないので具体的には書けませんが、上記に書いた様に高齢者との交流の場などがあれば参加します。
67	問5	何が起こっても負けない子供
68	問5	小さなことしかできませんが、地域でのあいさつ、声かけ
69	問5	具体的には不明ですが、年中行事程度なら(数ヵ月に一度)何かしらできると思います。フルタイムで働いているのであまり積極的にというのは難しく思います。(日常を過ごすのでいっぱいです…)
70	問5	地域の行事に参加する(子供と一緒に)。PTA役員

6 あなたは本町の教育についてどの程度満足していますか？以下の4つから選んでいただき、その理由も併せて記述願います。

番号	回答内容(重複あり)
1	問6 子どもが減っている現状なので、保育園の統合などを考えてほしい。
2	問6 小中学校の統廃合が中途半端。できる子には退屈で、できない子にはついていけない学習内容。部活動の選択肢が少ない。10年前後、共に過ごすメンバーが変わらない。アルバイトが禁止されている。
3	問6 内容が分からない、知らない
4	問6 勉強、クラブだけでなく、米作り、野菜もそう。子どもが外にいるのを見たりがない。
5	問6 地域に出向いて高齢者の話を聞く等したらもっと子どもとの話を聞けてくるのでは？
6	問6 広報誌や同封の学校だよりから判断しました。
7	問6 安芸太田町の教育についての情報が無いのでよく知りません。
8	問6 子どもや学生が周りにいないので全く分からない。
9	問6 保育料二人目から無料はとても助かっています。教育も子どもに合わせて勉強して下さっていて安心して預けられます。
10	問6 優しい子どもさんばかりだと思います。このままの気持ちを引っ張ってあげてほしいと思います。
11	問6 ICTを活用した教育、送迎バスの充実、学校施設等のハードの充実、協調学習の実施、児童クラブの充実、適度な少人数による学習(少なすぎないことも重要、複式学級はNG)
12	問6 本町は東部の神石高原町と並ぶ(県内1,2を争う)高齢過疎の町、北広島町や神石高原町の教育の取り組みも参考にすべき
13	問6 共通テストなど平均値が高い教科もある。また、他学校との交流や屋外活動など素晴らしい。だが、挨拶や生活面での点で気になることがある。
14	問6 さらなる向上を期待して、まあまあにしておきます。
15	問6 私自身もう本町の子どもたちと触れ合う事も少ないので、本町の子ども教育がどういうものが分からないから。
16	問6 親の悩みを学校の先生はとても聞いてくださるが、子どもにどれだけ親身に悩み等に寄り添っているのが見えてこないため。
17	問6 教育現場を見たことがない。また、教育についての説明資料も目にする事ができない。
18	問6 当町の自然や文化、伝統、歴史を知れたから。
19	問6 総合的な学習の時間では、町のことを知ることができるし、ICTなどを使い、他学校と交流しながら学べるから。
20	問6 東京、広島市内の方では昔からですが塾があります。子どもたちが楽しく好きで高度の勉強を身につけることができないものかといつも思っています。
21	問6 放置された山林、農地を活用していない。農林科を設立し町が率先して若者が学んだことを実践できる場所を提供する。卒業後、訓練校、あるいは徒弟として何年間か本町において技術の習得をさせる。町が農地、山林を幹施し自立するためのサポートをする。
22	問6 学校と縁が切れて何十年で、現在の教育についてはよくわかりません。時々小学生と話をしますが、しっかりしていて感じがよかったです。
23	問6 なぜなら、校舎や寮がすごいと思った。祭りもあり、いい。公園とかは、昔から変わってなくて、自分が生まれた時から一度もリニューアルしていない。また、公園といっても保育園児用ぐらいのものだから、高校生になっても遊びたい人はいるというのは忘れないでほしい。
24	問6 高齢者が多く家族も少なくなり、住みにくいのでは？
25	問6 私には子供がいないので、ここはわかりません。
26	問6 住んでいるところの学校、幼稚園が廃校となり、子どもの様子が分からなくなった。
27	問6 他町(北広島町)の学校へ勤めることが多く、本町の教育は分からない部分が多く大きな問題は聞かないのでまあまあの評価。
28	問6 将来輝く想像豊かな子になってほしい。そのことを考えると中卒後、加計高ありきではなく市内、県外等様々な選択肢を子及び親にも示すべし。
29	問6 身近に学童がいないのでわかりません。

30	問6	各学校も頑張っておられます。全員が良い生活を送れるようになったらうれしいです。とにかく優しい人になってほしい。
31	問6	度々会合が開かれていて、関係者の方は心配の多いことだと思います。ご苦労様です。
32	問6	自分の子供は未就学児なので、小中の様子が分からずどのような教育がされているかあまりわからない。通っている園では異年齢交流や自然とのふれあいなど、まあまあ満足している。
33	問6	学校見学に行くことがない。
34	問6	授業の内容には割と満足しているが、今後社会で必要になるであろう多様性についてはあまり満足してない。
35	問6	分からない。
36	問6	交流が少ない。
37	問6	満足度は分かりません。本当は教育って先生と子供がいれば良いのかも。「松下村塾を思ってみてよ！先生と子供しかいないよね！校舎ナシ、校庭ナシ、体育館ナシでも立派な人たちが出てきたよね？」大丈夫です、少しずつやっていけば！
38	問6	現状は(あまり)ですが、この度の町民アンケートの趣旨から上記の提言等でらしさの教育が出来れば(とても)の選択肢になりましょうか。(あまり)の選択理由 民泊体験での本町の子どもさんとの繋がりがあれば、より本町の豊かな自然から学ぶこと、また、各家庭での日常生活の中での生活の知恵に気が付くこと等があり民泊生徒との交流が生まれ町の活性化が期待できますが現状は、町内の子どもさんとの交流があまりない。過疎化による次々の廃校で跡地施設の活用が課題となっている。これからのまちづくりに子ども教育の場として跡地施設利活用の時代が来ると思います。都市部の子ども育成問題解消への補完機関としてまた、コロナ渦対応での子ども育成環境に跡地利用した安心安全な町「あきおた」を掲げてみるのも教育行政の施策かと思えます。
39	問6	よくわかりません。
40	問6	私は中学まで本町で学びましたが、それなりに興味もあり、いっしょうけんめい学習したような気がします。まだまだ学びたいことはたくさんあります。
41	問6	安芸太田だよりや学校だよりで知るぐらいなので、多くを知ることはできない。
42	問6	先般新聞発表の2022年度全国学テ県内正答率が載ってました。特に小学6年の状況は注目でした。満足度評価のひとつには、その数値結果によりました。
43	問6	満足していること:こども園の支援センター。一番悩みが多いときに他のお母さん方や先生に相談したりしてとてもありがたかった。 要望:習い事が少ない。夏休みのプール教室、放課後の陸上教室、体操教室、こどもの英会話など、教育委員会主導でしてほしい。ボール遊びができるような広場がない。
44	問6	教育の事は良く分かりませんが
45	問6	町長、教育長の考えですべての人が振り廻されている。町長の思い(やりたい事、構想)を町民にぶつけて、意見を町民に聞くなどして執行しなければ町民は納得できないと共にスピード感が必要ではないか
46	問6	これまでの自然を通しての学習、地域との交流などはありがたく思ってきましたが、学校、幼稚園の廃止によって、少なくなっているのではないのでしょうか。行政の責任である、就学前施設、学校の維持整備が地域と共に十分な話し合いのなかでなされなかったのは不信として今でも残っています。自校給食も今となっては夢のような最高のこの町らしい教育の保障でした。
47	問6	学校の授業だけでは(自主勉強をしても)進学校や大学に進学は難しい(この町に限った話ではないが)
48	問6	関りを持った事が無いので解りません
49	問6	学校と家庭、地域の「こんな子供に育てたい」という願いが、同じ方向を向いているのか。協同学習の成果が具体的にどのような成果になって表れているのか、これから表れていくのか。基礎基本の定着は？いまひとつみえない。

50	問6	少ない人数しかいないのに不登校の子どもがいたり…先生が考えが古い?!昔ながらの～みたいな方がいるそうで…今の子どもたちに合わない教育をされているのでは?!そういうところは市内とか大きな市や県のやり方、新しい技術、知識等をしっかり研修でとり入れてほしい。一人もとりのこされてはいけなと思う。発達障害に対する対応とかはできていますか?
51	問6	教育への予算も多く、一人ひとりを大事にしている
52	問6	私自身加計で保育所、小学校、中学校を卒業しました。いろいろな教員がおられましたが、その中には他市町で不祥事で隣町にとばされ、そこでも不祥事を起こし自分の学校に転勤された先生もおられ、その教員はのちに担任になりました。当時はちょっとおかしいと思う程度でしたが、今思えば最低レベルの先生でした。高校、大学では町を離れ、教員のレベルが違くと授業内容は一緒でも理解度は全く違うことに気づかされ、指導力が上がればおのずと成績も上がることが実感できました。今思うと本町の教育は完全に大人の事情の中での教育だったとしか思えないです。一刻も早く町民に説明、改善策を示していただきたい。しいて教育からの人口増加も見込まれるのではないのでしょうか。町のシステムの再構築、THE住みにくい町を一刻も早く改善していただきたい。まったく難しい話ではないです。最後ですが、町職員全員に同様のアンケートをし、公表していただきたいです。町職員の意見を聞けることはほぼないですし、職員の中には他市町の方が多くおられる為、様々な意見が聞けると思います。その意見を町民に情報として入れていただくと、少しずつは環境や考え方も変わり住みやすい町につながると思います。よろしく願いいたします。
53	問6	学校に関わっていないためわからない。
54	問6	教育の一本化は継続的な支援ができるのでよかったですのではと思います。かけはし期の取り組みについても、しっかり見てもらっているんだなと感じます。自然を取り入れた教育は、今現在の中でさらに良いものができるのではと思います。なので、新たなものを作るという考えはどうなのでしょう?この人口が少ない中で、さらに子どもたちを分断させてしまいつながりが薄くなるのではと不安があります。今までも、これから会を重ねるごとにさらに教育や子育てのあり方について、色々な声があがるかと思っています。大きな声だけを拾わないで、主張については精査していただきたいと思います。最後は質問と関係なく失礼しました。
55	問6	子どももいないし移住したのでわかりません
56	問6	子どもの人数が少ない分もう少し学力があってもいいのではないかと思う
57	問6	現在の学校や教育について分かりません。
58	問6	分からない。
59	問6	少人数の学校で取り組める活動等を選択し各学校で工夫しながら取り組んでいる。
60	問6	あいさつが小さい。暗い。と感じる子が多い。多くの体験をこの閉鎖的な町から解放させてさせるべき。この町で腐る人はたくさんいると思ういたと思う。本当に暗い人が多い。移住してつくづく感じる。自分だけではないと思う。
61	問6	通学の送迎もありしっかり勉学できてると思います。子供が成長していく中で企業誘致とかありますけど人口減少の中で課題だと思っています。
62	問6	高齢者(主人と私)二人で生活していますが、孫は近くにいて孫のようす(高1高3)から楽しんで学校に行き部活・勉強頑張っているように思います。
63	問6	加計高校はさまざまな支援をしてくださっていて、私がしたい希望のように活動ができています。そのため、大学進学や人生経験において、他校よりも一歩手前のレーンを歩かせてもらっているように見え、とてもありがたいと思っているからです。
64	問6	県内の他市町と比べて、ICTの活用や協調学習に早くから力を入れていることはとても評価できます。子供の人数が減少している今、他にない魅力的な教育環境やプログラムが出来れば安芸太田町で子育てしてみたいと思う若い人たちが移住してくるかもしれません。
66	問6	現在の教育を知らないため判断できない
67	問6	これまでも住民の声を聞き入れてもらえていない。本町の教育はよそから持って来て行くものではなく、今まで行ってきている大切なものを、もう一度見直し、条件整備し、地域と共に育てていくことではないのでしょうか。この町で育ててきたことを分からないまま次の新しいことへ向かうには反対です。
68	問6	以前は教育について満足していましたが、今回の学力調査で県内最下位だったことになかなかショックを受けました。今後こういった教育方針になるのか期待しています。

69	問6	身近に子どもがないので、どのような教育がなされているのかよくわかりません。
70	問6	先生方子供達の関係もすばらしいと聞いていますのでますます進行して行けば未来がとても開けてきます。
71	問6	これも難しい質問です。今、子育てをしている親の方(全員)に今回のアンケートをする必要があると思います。今回有識者の先生方が参加されていますが、すばらしい意見やアイデアをすべて網羅する事は出来ないと思うし、かえって本町らしさを失わない事を願います。
72	問6	家族、お知り合いに子供がないので正直、関心が薄いです
73	問6	高齢者である為時代の差がある
74	問6	高校生を含めて、出会う子どもたちがとても元気そう。あいさつをよくしてくれる。
75	問6	自由に遊べる場所が多く、子供達がのびのび過ごせる。習い事をしようと思っても町外へ出なければいけない(選択肢が少ない)
76	問6	英語の先生(海外からの)もずっと数名いらっしゃっていて、良いと思う。色んな行事や活動を通して、子供が大切にされていると感じる。森のようちえんを町がするのはよく分からない。(今で十分)